

ロゼッタネット - グローバルバリューを最大化

(後援するのはオラクル、E2OPEN、マイクロソフト)

(ロゼッタネット - グローバルバリューを最大化)

(今こそ前進を)

キャサリン・ケアリー：テキサス・インスツルメンツ、ワールドワイド B2B・戦略マネジャー：

ロゼッタネットは、基本的には小売業でおおいに役立つ可能性があると思います。RFID (IC タグ) の技術が発展してきたこともあり、また、小売業にもハイテクが浸透してきたという事実もあるからです。一般消費者が買う商品の中にも、ますます多くのエレクトロニクスが取り入れられるようになってきています。

ジョン・カートライト：インテル、グローバル B2Bi・マネジャー：

インテルは、ロゼッタネットの自動対応プログラムに先導的役割を果たしています。これは、企業が従来、B-to-B (Business-to-Business、企業間の取引) 標準で到達することのできなかつた段階でも、ロゼッタネットによってコネクトすることが可能になるという、重要なプログラムです。

マニッシ・モディ：オラクル、製造および PLM 部・バイスプレジデント：

ロゼッタネット自動対応プログラムのおかげで、オラクルは中小規模の企業がよりスピーディーに、より安価に、より簡単にロゼッタネットを採用することができるように、これら企業にもツールを提供することができます。オラクルソリューションの基礎は、Oracle Fusion Middleware に根差しています。

ドゥルー・グード：マイクロソフト、テクノロジーストラテジスト：

マイクロソフトはオフィス製品の革新を続けています。XML に支えられ、Microsoft Office のプラットフォームが、中小企業が取引相手との間でロゼッタネットのコラボレーションを処理するためのプラットフォームとなるようにと考えています。

ロゼッタネット - グローバルバリューを最大化

(メンバーの主要イニシアチブ)

キャサリン・ケアリー：テキサス・インスツルメンツ、ワールドワイド B2B・戦略マネジャー：

テキサス・インスツルメンツは、主要スポンサーとしてロゼッタネットの一翼を担い、製品変更通知に関する標準を開発しています。ハイテクの分野においては、製品変更通知は実際には手作業で行なわれています。これを管理することは極めて難しいため、当社はこのプロセスに全面的に取り組んでいます。

キンチン・ウー：シスコシステムズ、サプライチェーン・マネジメント・シニアディレクター：

当社が取り組んでいる主なイニシアチブの一つは、ロジスティクス部門です。トランスポーションの分野でロゼッタネット標準を広く活用することを目指しています。

ピーター・ウィリアムズ：IBM、エグゼクティブコンサルタント：

過去 5~6 年間に振り返ると、IBM が一つまたは複数のロゼッタネットイニシアチブに深く関与していなかった時期は思い当たりません。

(将来のビジョン)

キンチン・ウー：シスコシステムズ、サプライチェーン・マネジメント・シニアディレクター：

シスコはロゼッタネットを B-to-B ストラテジーとして採用し、チャネルパートナーとの間の発注プロセスにおいて広く活用してきました。今後も当社サプライチェーンに拡大して活用していくつもりです。

パメラ・ウェバ：アロウエレクトロニクス、グローバル・サプライ・チェーン・テクノロジー・シニアマネジャー：

将来のロゼッタネットについてのアロウエレクトロニクスのビジョンは、今後も引き続き、サプライヤーやお客さまとコミュニケーションを図るためのフォーラムとしてこれを活用し、サプライチェーンに今後発生してくる問題に対処していくというものです。フォーラムが実際に話し合いの場となり、単なる技術的なソリューションではなくビジネス上の観点から実際に問題に対処するように、ロゼッタネットを役立てます。

ロゼッタネット - グローバルバリューを最大化

(新たな課題)

クウェイション・バイサ：NXP、グローバルプログラム・マネジャー：

将来は、企画をやりとりし、マーケティングやお客さまとの率直な対話をもっと盛んにすることができるようにと、ロゼッタネットには今以上に製品情報の分野に対応してほしいと願っています。これらの分野においては、これまで自動化が進んでいませんでした。

マニッシ・モディ：オラクル、製造およびPLM部・バイスプレジデント：

将来は、ロゼッタネットがイニシアチブをとり、「1 Sync」と「EPC Global」との標準を統合することができたら素晴らしいと思います。「1 Sync」も「EPC Global」も、ロゼッタネットとともに、「GS 1」を構成しています。

ドゥルー・グード：マイクロソフト、テクノロジーストラテジスト：

ロゼッタネットが今後取り組むべき重要な課題は、この優れた標準を、どのようにしてサプライチェーンにより広く取り入れるかだと思います。

(業界の垣根を超えるロゼッタネット)

ロレンゾ・マーティネリ：E2OPEN、エグゼクティブ・バイスプレジデント：

ロゼッタネットは、さまざまな業界で積極的な役割を果たすことができると思います。当社のお客さまからも、同様の意見を聞いています。当社のお客さまはみな、自動車、航空宇宙、建設など、エレクトロニクスに限定されない他の多くの業界相手に取引を行なっています。ロゼッタネットには、さまざまな業界をつなぐ共通言語の役割を果たすことが要求されています。

クリステン・コウルズ：シスコシステムズ、エンタープライズB2B・ディレクター：

企業社会が密接に結びついて市場に製品やサービスを提供する必要のある業界では、どの業界であれ、ロゼッタネットを活用するチャンスがあると考えます。

(5年後)

パメラ・ウェバ：アロウエレクトロニクス、グローバル・サプライ・チェーン・テクノロジー・シニアマネジャー：

サプライチェーンには解決しなければならない新たな問題が生じてきます。ビジネスにおいて、状況は常に変化します。私たちがそれぞれの企業にとっての重要事項に前向きに取り組むことができるようにと、協力し、ビジネスの課題は何かについて徹底的に話し合い、実際にみんなが合意できる標準を策定するのは当然のことです。

ロゼッタネット - グローバルバリューを最大化

マニッシ・モディ：オラクル、製造およびPLM部・バイスプレジデント：

将来において、たとえば今後5年間に、ロゼッタネットは、ハイテク業界だけでなく、ハイテクに関連する小規模な業界においても事実上の標準となると思います。また、ロゼッタネットをRFIDやEPCなど他の標準とともに活用することによって、何をどこにという情報だけでなく、どのようにという情報をも得られるようになると思います。

クウェイション・バイサ：NXP、グローバルプログラム・マネジャー：

5年後も、ロゼッタネットは熱心な人々が構成する活力あるコミュニティであり続けてほしいものです。自分の仕事に熱心であるばかりでなく、業界全体を視野に入れて、サプライチェーンの向上、在庫レベルの全般的な低減、効率性の向上、合理化、さらにまたこれらに限定することなく、私たちみんなの成功を目指したいものです。

(後援するのはオラクル、E2OPEN、マイクロソフト
ロゼッタネット)